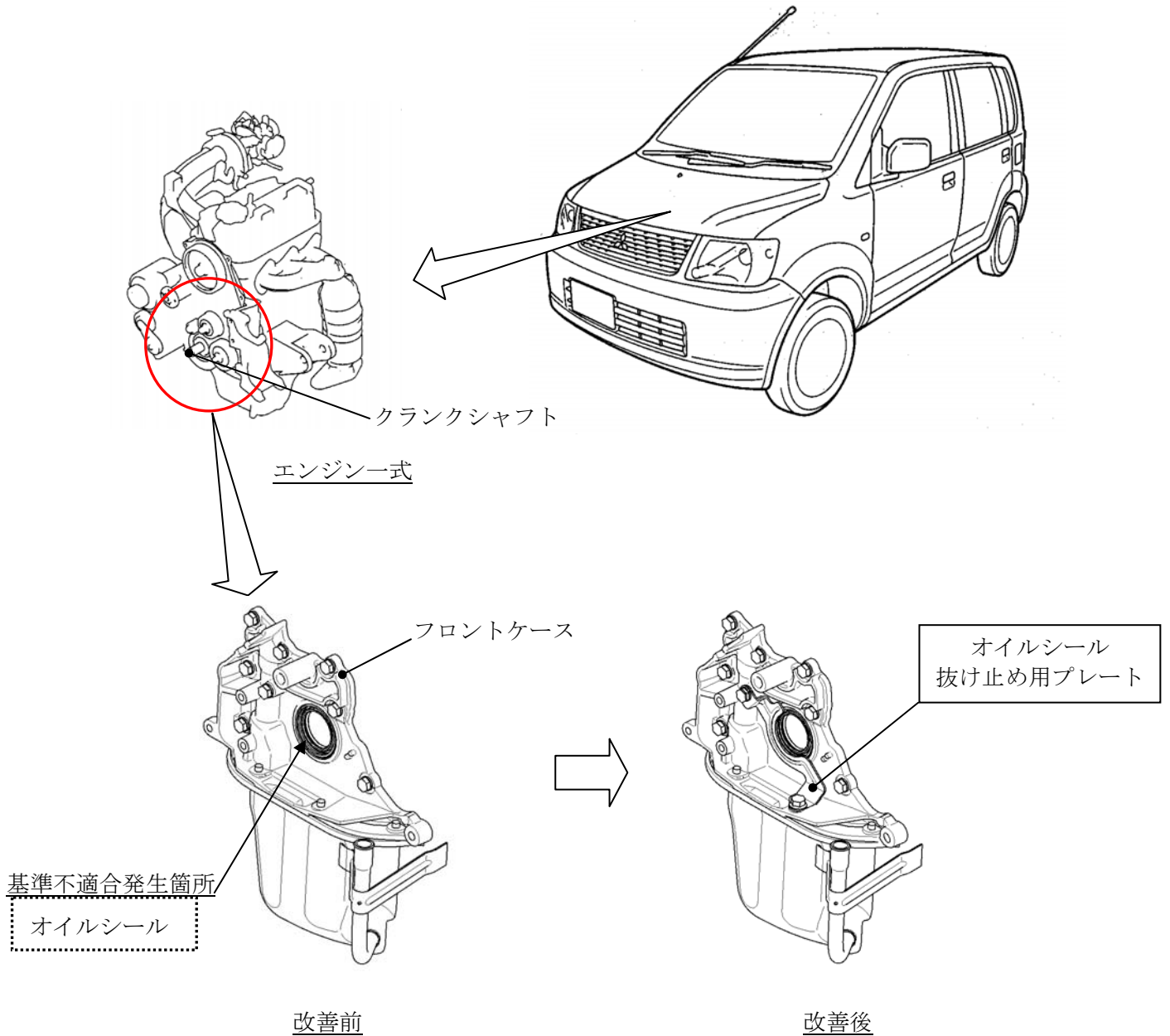


# 改善箇所説明図



エンジンフロントケースに装着しているクランクシャフトオイルシールにおいて、フロントケースの加工ばらつき、およびオイルシール圧入量ばらつき等の複合要因により、当該オイルシールの保持力が低下しているものがある。そのため、当該オイルシールが抜け出しエンジンオイルが徐々に漏れ、油圧警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、エンジン内部部品が焼付き、走行不能となるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、当該オイルシール取付部を点検し、オイル漏れが無い場合は、フロントケースにオイルシール抜け止め用プレートを追加装着する。なお、オイル漏れがある場合は、オイルシールを新品に交換するとともに、フロントケースに抜け止め用プレートを追加装着する。

注：図中の $\text{\textcircled{\small\text{---}}}$ 内は、点検し、必要に応じ交換する部品を示す。

図中の $\text{\textcircled{\small\text{---}}}$ 内は、追加部品を示す。

識別：ブレーキペダルアームの右側面に白または黄色のペイントを塗布する。